

令和5年度持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出

**「金沢能登広域での
サステナブル観光コンテンツ強化事業」
～食文化ツーリズム開発～**

実施報告書

【概要版】

令和6年2月

国土交通省 北陸信越運輸局

(受託事業者：株式会社計画情報研究所)

目次

1. 事業の目的・実施概要	-----	P. 3
2. 新規コンテンツの開発及びモデルルートの造成	-----	P. 8
3. 旅行商品磨き上げのための旅行会社等の招請 及び勉強会の実施	-----	P.11
4. デジタルを活用した体験価値の向上策の検討	-----	P.16
5. 有識者を含めた検討会の開催	-----	P.17
6. コンテンツ及びモデルツアーの取りまとめ	-----	P.18
7. 事業総括	-----	P.19

1. 事業の目的・実施概要

■事業の目的

- 旅行者のニーズを満たしながら、旅行者が地域の経済・社会・環境への貢献を実感する好循環の仕組みをつくり、持続可能な体制の構築を目指す

サステナブルな観光コンテンツ強化に際しての視点

- サステナブルな観光コンテンツの造成と提供
- サステナブルツーリズムを推進する体制の強化
- 好循環の仕組みづくり

■実施事業

- 上記の事業の目的のもと、次のとおり実施事業の大きな柱を整理し事業を推進した。なお、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で対象地域が被災をしたため、事業の実施を取りやめたものもある。

ターゲットのニーズをふまえた、地域側のサステナブルな観光コンテンツの強化

- サステナブルな観光を志向する旅行者のニーズをふまえ、地域資源を生かしたサステナブルな観光コンテンツを造成する。地域への貢献を実感できるよう工夫する。

該当事業

- 新規コンテンツの開発及びモデルルートの造成
- 旅行商品の磨き上げのための旅行会社等の招請及び勉強会の実施

ターゲットへ訴求する販路形成に向けた体制の構築

- 販売可能な商品を造成し、国内DMCへ販売可能な体制づくりを行う。ターゲットとなる旅行者がサステナブルツーリズムを期待するツールとして動画を制作する。

該当事業

- デジタルを活用した体験価値の向上策の検討
- 販路形成に向けた旅行会社との意見交換会
- コンテンツ及びモデルツアーのとりまとめ、原稿作成

有識者を交えた関係者の検討会による事業推進の体制づくり

- 有識者や関係者が参画する検討会を開催し、コンテンツのブラッシュアップや地元側の受入環境の整備、販路形成に向けた検討会を行い、事業推進に向けた体制づくりを行う。

該当事業

- 有識者を含めた検討会の開催

1. 事業の目的・実施概要

■実施事業

- 各事業の内容は、次のとおりである。なお、(4)は被災により旅行会社へ販売できる状態ではないため、取りやめを行った。

(1)新規コンテンツ及びモデルルートの造成

金沢市と能登地域でのサステナブルな観点からの新規コンテンツを、旅行会社、地元事業者が連携して開発する。食文化ツーリズムをテーマとしたコンテンツ、モデルルートを造成する。

(2)旅行商品の磨き上げのための旅行会社等の招請及び勉強会の実施

コンテンツ及びモデルルートの磨き上げを目的に、旅行会社等を招請して現地視察を行う。商品の磨き上げと金沢市と能登地域の周知のため、旅行会社等と意見交換をする勉強会を実施する。

(3)デジタルを活用した体験価値の向上策の検討

金沢市と能登地域でのサステナブルに関する取組についての理解を促進する動画コンテンツを制作する。

(4)販路形成に向けた旅行会社との意見交換会

→一部取りやめ

販路形成に向けた体制の構築とターゲット層を扱う旅行会社に造成商品を紹介するため意見交換会を企画したが、震災の影響でコンテンツの実施が困難であり紹介できる状態でないため、旅行会社との意見交換会は中止とした。

(5)有識者を含めた検討会の開催

事業実施にあたる方向性の決定や関係者間の意見交換及び意識共有の場として、また有識者、専門家よりサステナブルなディステーション先としてのストーリーづくりやPR戦略、サステナブルな観点から造成するコンテンツの地域への貢献性を協議する場として検討会を実施する。

(6)コンテンツ及びモデルツアーのとりまとめ、原稿作成

コンテンツ及びモデルツアーの情報発信や販売ができるよう、コンテンツは県内DMCに協力いただきタリフにまとめ、モデルツアーはアイテナリーに取りまとめた。

1. 事業の目的・実施概要

■金沢能登広域で推進するサステナブルツーリズム

- 2015年に国連サミットで採択された、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」いわゆるSDGsは、日本を含む加盟国が2016～2030年の15年間に達成する行動計画である。2017年にUNWTOでは持続可能な観光を推進していくことを発表し、国際的にサステナブルツーリズムへの意識が高まっている。
- 金沢の前田家の藩政期から築かれてきた文化は広く市民に浸透している。能登地域は里山里海の豊かな自然を活用した暮らしの知恵、技術が継承されており、世界農業遺産に認定されている。それぞれの魅力を持つ金沢と能登地域を広域のサステナブルツーリズムとして繋げることで、広域ディスティネーションによる長期滞在・消費機会の拡大・新たな価値の創出を目指した。
- 金沢能登広域での取組として、令和3年に金沢能登広域アドベンチャーツーリズム事業では、自然、アクティビティ、歴史の3要素を盛り込んだツアーを造成し、金沢能登広域での新しいサステナブル観光コンテンツ強化学業も実施し、サステナブルな観光に関心の高い旅行会社と連携してモデルツアーを造成した。本事業では、これまでの取組でのサステナブルな観点や県内事業者との連携を活かした取り組みを行うことができた。

金沢・能登のつくり手に出会う Farm to Table の旅

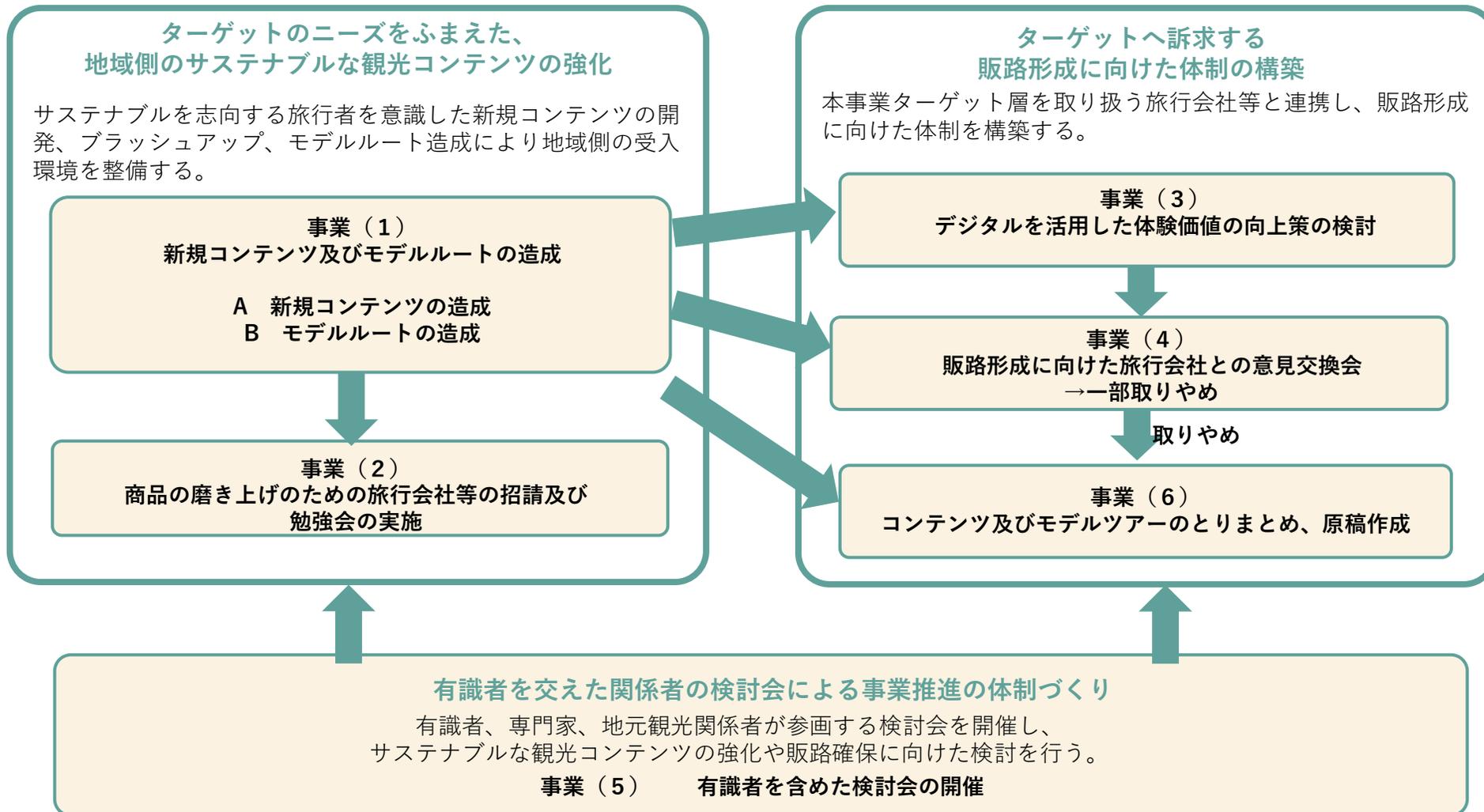
■ターゲットの設定

- 以下の特徴を持つ、欧米豪出身のモダンラグジュアリー層をターゲットとして設定した。
 - 世界を旅することを好む、30～40代カップルやファミリー
 - 知的好奇心が強く、異文化体験を通じて自身の在り方を見つめ、成長することを求める。
 - 日本の文化や風景、歴史に興味がある。
 - エシカルでサステナブルなライフスタイルを送る。
 - 旅先での地元の人との交流や、旅を通じた地域への貢献を求める。
- 本事業でテーマとする食文化は、地域の文化やライフスタイルに触れ、地域で暮らす人々との交流の機会を創出することができ、モダンラグジュアリー層の価値観に合致する。

1. 事業の目的・実施概要

■実施概要

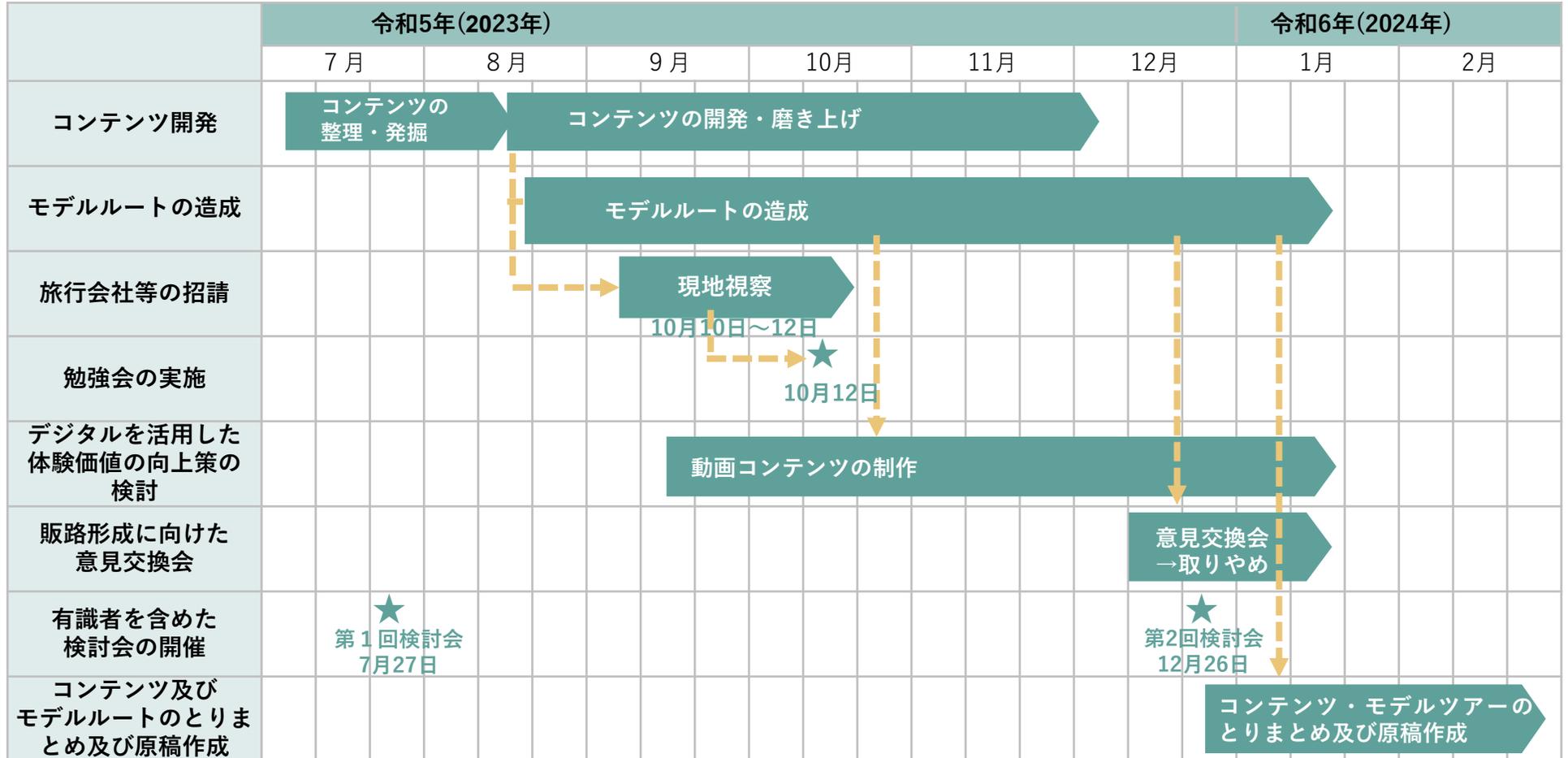
- 下のフローに基づき、事業を実施した。



1. 事業の目的・実施概要

■スケジュール

- 以下のスケジュールで、事業を実施した。



2. 新規コンテンツの開発及びモデルルート の造成

■新規コンテンツ

- ・ 食文化をテーマとして、地元観光事業者と連携し地域の独自性を生かしたサステナブルな新規コンテンツの開発と磨き上げを行った。現地視察での評価をフィードバックしつつ、ターゲット市場の需要に見合うコンテンツを開発した。
- ・ 令和6年能登半島地震の影響で販売することは困難となったが、復興後再開の目途が立つ際に活用できるようにする。

開発・磨き上げのポイント

- ・ 地域資源の観光利用と保全を両立するものとする
- ・ 観光による地域の経済・社会・環境への恩恵を地域に還元する持続可能な好循環の仕組みづくりを実装する
- ・ 持続可能な観光の受入体制を構築する

新規コンテンツ

■農業体験(稲刈りなど)と収穫した食材での夕食

有機栽培を行う農場で、取組を説明いただき、有機米の田んぼで収穫体験を実施して、おむすびの試食をしていただく。夕食は、農場が運営する金沢町家を改装したフレンチレストランにて夕食を楽しむ。

サステナブルなポイント

- ・ 生産現場で実際に体験することで、食に対する恩恵を意識できる
- ・ 生態系の維持や地域環境への配慮を理解できる
- ・ 金沢町家の現代的な活用を楽しむ



■ミシュランシェフと里山の食材探し&ランチ

ミシュラン1つ星・グリーンスター獲得の日本料理の料理長から、地域の川の保全活動に関する話をお聞きし、モクズガニやカジカなどの地域で採れる食材の捕獲体験。体験後は、その捕獲した食材を使用したランチを楽しむ。

サステナブルなポイント

- ・ 地域の自然環境を保全する活動を行うシェフから直接話を聞くことで、地域の自然の豊かさと実情を実感する
- ・ 食材を調達する体験をすることで、生物多様性や生態系の維持を理解できる



2. 新規コンテンツの開発及びモデルルート の造成

■モデルルート

- ・ 新規コンテンツを軸としたモデルルートを作成した。ただし、令和6年能登半島地震の被災により実施が困難な内容が含まれる。復興後に再開の目途が立った際に活用することとする。
- ・ 食文化をテーマとすることで、金沢市と能登地域の生産者との出会いや受け継がれてきた文化や暮らしの技術を体感することができ、サステナブルな観点からの魅力を味わうことのできるルートとなった。金沢と能登で活動する人に出会い対話することに重点を置き、貢献意欲のある旅行者にとってその土地で深い体験ができ、地域の食材が地域の環境と強く結びついていることを理解し、保全への意識を生むことができる。

旅行会社等の招請

旅行会社等を招請した現地視察を行い、旅行会社にモデルルートを作成いただいた。欧米豪からのモダンラグジュアリー層のインバウンドに強く、サステナブルなツアー造成を行う国内旅行会社を招請した。

旅行会社以外に、観光業界の発信を行うメディアとターゲット層への訴求の高いブロガーを招請し、本事業での取組を発信いただいた。

BOJ株式会社（Beauty of Japan）

2014年に『日本の本当の美しさ』を伝えるために創業し、欧米豪インバウンドに特化した旅行会社として、そして高付加価値旅行の専門家・コンサルタントとして、ハイエンドトラベラー誘客やマーケティング・プロモーション支援を行っている。
年間25,000人の訪日旅行の取り扱い実績がある。

■発信・販売手法

- ・ 新規コンテンツは、造成に関わった県内DMCが販売し地域側が利益を確保できるようにする。ただし、令和6年能登半島地震の被災により当面は実施困難である。復興後に再開の目途が立った際に活用する。
- ・ 制作した動画と合わせて発信し、今後の商品やプロモーションにつなげる。
- ・ **ターゲット層の取り扱いのある旅行会社にアプローチを行い、意見交換会へ出席いただく段取りまでは行っていたが、当面はコンテンツの実施が困難であり、紹介できる状態ではないため旅行会社との意見交換会の実施は取りやめとした。**

2. 新規コンテンツの開発及びモデルルート の造成

Farm to Table

金沢と能登の土地が育んできた食。その生産現場で活動をする人たちや食にまつわる工芸などの技術を受け継ぐ人たちに出会い、触れる旅。

行程	観光ポイント
Day 1	
午前	のと里山空港着
	ミシュランシェフと川での捕獲体験 川の保全活動の取組を行うシェフとともに、食材となる生物の捕獲体験。
午後	ミシュラン1つ星の和食 自分で捕獲した食材を活かした日本料理を堪能。
	千枚田 見学 世界農業遺産である能登の里山里海を象徴する景観を体感。
	輪島漆芸美術館 輪島塗工房訪問 能登の伝統工芸である輪島塗の工房を訪れ、職人の技術を見学し、現代に合わせた工芸品に触れる。
	宿泊先へ 能登の自然が広がる中、器や空間を楽しむ宿で夕食をし、宿泊。
Day 2	
午前	輪島朝市ツアー 輪島朝市を散策。
	金沢へ移動
午後	近江町市場と料理体験 料理家とともに近江町市場で買い物をし、金沢町家のキッチンスタジオで地産地消の料理体験。
	兼六園・金沢城・金沢21世紀美術館 日本三名園である兼六園と美術館で、古と現代の美に触れる。
	宿泊先へ

行程	観光ポイント
Day 3	
午前	有機栽培の農園で農業体験 自然環境の豊かな有機農園にて、農業体験を行い、おにぎりを作って試食。
昼食	町家でフレンチ 農園が運営するフレンチレストランにて昼食。金沢町家の空間も楽しめる。
	帰路へ

令和6年能登半島地震の影響を受け、実施が困難であるため、復興後再開の目途が立った際に再検討し活用する。



3. 旅行商品磨き上げのための旅行会社等の招請及び勉強会の実施

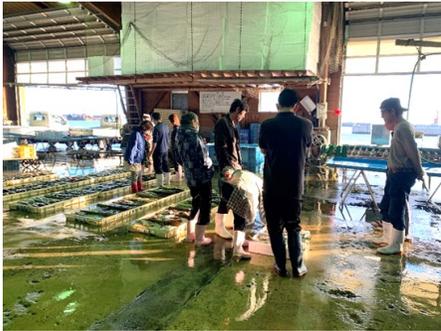
■実施概要

- ・ コンテンツ及びモデルツアーの磨き上げとツアーの商品化のため、ターゲット層を取り扱う旅行会社等を招請して現地視察を行った。
- ・ 現地視察後に勉強会を開催し、コンテンツやモデルプランのブラッシュアップに向けた意見交換をすることができた。
- ・ Farm to Tableのテーマに沿った視察先を選定し、現地視察を行った。能登の豊かな自然環境や古くからの技術を体感した後、食材や素材を活かした金沢の洗練された文化を堪能する行程とした。
- ・ ターゲット層のサステナブルに関するニーズを熟知する旅行会社やメディア、ブロガーを招請し、体験したコンテンツに対するサステナブルな観点からの具体的な改善点をいただくことができた。

実施概要		現地視察 旅程	
日時	2023年10月10日(火)～12日(木) 2泊3日	DAY 1) 10月10日 (火)	9:50 のと里山空港着 ⇒ 10:30 輪島塗工房 キリモト見学 ⇒ 12:15 輪島網元とね【昼食】 ⇒ 13:30 富成 地域の食体験 ⇒ 15:15 揚げ浜式塩田 見学 ⇒ 16:30 千枚田 見学 ⇒ 17:30 ホテル チェックイン (ルートイン輪島) ⇒ 18:30 富成の日本料理【夕食】
被招請者	【旅行会社】BOJ株式会社 アダム ダウンナム氏 【メディア】ライター 吉田 千春氏 【ブロガー】UKトラベルブロガー デーブ・ブレット氏	DAY 2) 10月11日 (水)	5:45 輪島漁港で水揚げ・セリ見学 ⇒ 6:30 川端旅館【朝食】 ⇒ 8:30 金沢へ移動 ⇒ 10:00 金沢大地 農場見学・収穫体験 ⇒ 12:00 こはく 近江町市場ツアー+ 料理体験【昼食】 ⇒ 15:00 ホテル チェックイン (彩の庭ホテル) ⇒ 18:30 ア・ラ・フェルム・ドゥ・シンジロウ【夕食】
評価方法	現地視察後にアンケートを回収。	DAY 3) 10月12日 (木)	10:00 西村松逸先生 工房見学 ⇒ 12:00 料亭 仁志川【昼食】 ⇒ 14:00 勉強会

3. 旅行商品磨き上げのための旅行会社等の招請及び勉強会の実施

現地視察の様子



3. 旅行商品磨き上げのための旅行会社等の招請及び勉強会の実施

■現地視察の評価

現地視察に招請した旅行会社等を対象にアンケートを実施した。設問は一部異なる。(回答者:アダム氏、吉田氏、デーブ氏 計3名)

Q 特に評価が高かった視察場所とその理由

■金沢

こはく 近江町市場ツアー + 料理体験 (2名)

- ・市場の触れ合い、古民家で食事文化を味わい、とても充実。
- ・市場見学も面白く、いろいろな知識が得られたし、料理に関してもみんなで作ったという実感がわく内容で、お膳のプレゼンテーションもすばらしく、満足感が高かった。

彩の庭ホテル (1名)

- ・大浴場・朝食・サービス・部屋の広さ、全部良かった。

西村先生 工房訪問 (1名)

西村先生のような粹人の話をうかがえ、大変貴重な時間。その半面、海外の方に日本文化のディープな部分(口に出さず察する文化やわびさびの部分など)を伝えるのは非常に難しいと実感した。

■能登

富成 地域の食体験 (2名)

- ・シェフと触れ合うことができるコンテンツで、特別感がある。
- ・田舎らしい風景の中で過ごしたことのインパクトが大きかった。後々、今回の旅を思い出したとき、必ず町野川で魚とりをしていた風景を思い出すだろう、という気がした。

輪島塗工房見学 キリモト (1名)

- ・作品は非常に綺麗で、職人さんととてもいい話ができた。

揚げ浜式塩田 (1名)

- ・面白くて、おいしい。

輪島漁港 (1名)

- ・300隻の船が並ぶ漁港は壮観で、それとは真反対のかわいらしいセリのギャップが良かった。漁港見学→セリ見学→フリ売りの見学→朝食→朝市 と一連の流れで楽しめる。

Q 視察の感想

- ・提供しやすいコンテンツがたくさんあった。SDGsは現在そこまで強くは言えないが、一部整理したらセールスポイントになると思う。
- ・旅行全体に、farm to table というテーマが貫かれており、無駄なコンテンツが一切なかったことが素晴らしいと感じた。紹介されたコンテンツもバラエティに富んでおり、いろいろなサンプルを見せていただいた。農業・漁業と絡めたツアーは日本各地で組めると思うが、日本有数の漁港を有し、魚介類がひととき豊富な能登と九谷焼、輪島塗という、雅な器の文化を持つ石川県ならではの「食」を感じることができた。石川県ならではの特徴をツアーのテーマとしておとしこめれば、海外の方があえて、能登・金沢で食のツアーに参加する意義が出てくる。サステナブルをテーマにした旅行は、環境保全に目が行きがちだが、その地域の食文化自体を持続可能なものにしていく意味では、訪ねた場所で何かを購入したり、寄付したりしてそこにお金を落とすことにも大きな意味があり、ボランティアをして地元貢献する、地元の方と交流して、地元の方に刺激を与え、地域の魅力に気づいてもらうなども考えられると思うため、幅広いコンテンツが作れると思う。
- ・ツアーのコンテンツや食事が素晴らしかった。学びの多い体験。

3. 旅行商品磨き上げのための旅行会社等の招請及び勉強会の実施

■現地視察の評価を受けてのブラッシュアップ

- 今回のモニターツアーで体験したコンテンツや視察全体に対する意見交換を行い、ブラッシュアップを実施しコンテンツの造成を行った。ただし、令和6年能登半島地震の影響で実施が困難であるが、復興後に再開の目途が立った際に活用する。

コンテンツ	評価や改善点	改善策
農業体験(稲刈りなど)と収穫した食材での夕食	<p>【評価】 収穫体験後に田んぼを見ながら、収穫したものと同一品種の米を使ったおにぎりを食べる体験はよかった。数年前からコウノトリも訪れている説明があり、生物多様性を感じることができるとよい。</p> <p>【改善点】 おにぎりをその場で作る場所から体験できるとよい。 田んぼだけでなく、野菜などいろいろな種類の農場に行き、収穫体験ができればいい。 地域の高齢者との交流ができると、暮らしを知ることができよりサステナブルなものになる。 ビニール袋などの使用を控え、環境を考慮したもので代用するのがよい。 無農薬に賛同する旅行者が農作業やゴミ拾いの手伝いをする代わりにおにぎりを食べて、素敵な景色で写真を撮るといった、地域コミュニティに貢献できる内容であると誘客しやすい。 ヨーロッパでは、ファームショップが人気であるため、現地で農産物を購入できるとよい。</p>	おにぎりを作る場所も含めた体験にし、まず米を炊き、収穫体験の後に炊き立てのご飯でおにぎりを作る流れにする。 見学や体験する農場の選択肢を増やすことを検討する。
ミシュランシェフと里山の食材探し&ランチ	<p>【評価】 シェフの情熱やホスピタリティ、そして幼少時代の豊かな生物多様性の残る地元のあり方を守ろうとしていると感じることができ、特別な体験。 本格的な和食とセットになっていることもよい。</p> <p>【改善点】 モクズガニを獲る場所は、手すり無く安全面では不安がある。 体験後から食事まで時間があいたが、体験後にそのまま食事をとることができるとなおよい。 本体験の売上の一部を環境保全の寄付に充てられるとよい。</p>	午前中に体験をし、そのまま昼食をとるプランに変更。 地域の環境保全団体に売上の一部を寄付することを検討する。

4. デジタルを活用した体験価値の向上策の検討

- 金沢能登広域のサステナブルに関する取組についての理解を促進するツールとして、Farm to Tableをテーマとしたモデルツアー仕立ての動画コンテンツを制作した。金沢市観光協会や金沢市、能登半島広域観光協会等でBtoBへのアプローチに発信・活用をしていく。



(動画の一部抜粋)

伝えたいメッセージ

「Farm to Table」をテーマに、金沢・能登エリアの雄大な自然の恩恵による豊かな食材はどのように生産され、消費者の元に届けられるのか、食の循環を実感できるものとした。生産現場や伝統工芸の工房、料亭を訪れ、この地のサステナブルな食文化を理解し、この地に生きる人々の想いを知る旅の魅力を伝える。

発信・活用方法

金沢市観光協会、能登半島広域観光協会等のウェブサイトにて発信を行い、広く発信を行う。BtoBアプローチに際しても、動画を活用し、金沢能登サステナブルツーリズムの認知を獲得する。

5. 有識者を含めた検討会の開催

第1回検討会

日時	2023年7月27日（木）16:00～17:00
場所	金沢クラフトビジネス創造機構 レクチャールーム（オンライン併用）
参加者	17名（弓削貴久、北陸信越運輸局、金沢市、一般社団法人金沢市観光協会、一般社団法人能登半島広域観光協会、能登DMC合同会社、株式会社地球の歩き方、株式会社計画情報研究所(受託会社)）
議事内容	1) 各事業の実施方針 2) コンテンツの開発について 3) コンテンツの選定について 4) 現地視察について 5) 勉強会について 6) 意見交換会 7) 今後の予定
議事概要	<ul style="list-style-type: none">• Farm to Tableというテーマを付け、金沢と能登の生産現場からたどる食文化ツーリズムを開発。新規コンテンツは、金沢と能登で造成する。• これまでの金沢能登広域でのサステナブル事業の取組を踏まえ、地域の人によりフォーカスできるようなコンテンツが望ましい。• 新規コンテンツ案と既存コンテンツを組み合わせ、金沢と能登で2泊3日の行程を仮作成。旅行会社やメディア、有識者などを含め3者程度を招請して現地視察を実施。視察は10月ごろを予定しており、現地視察後に勉強会を実施し、意見をいただく予定。

第2回検討会

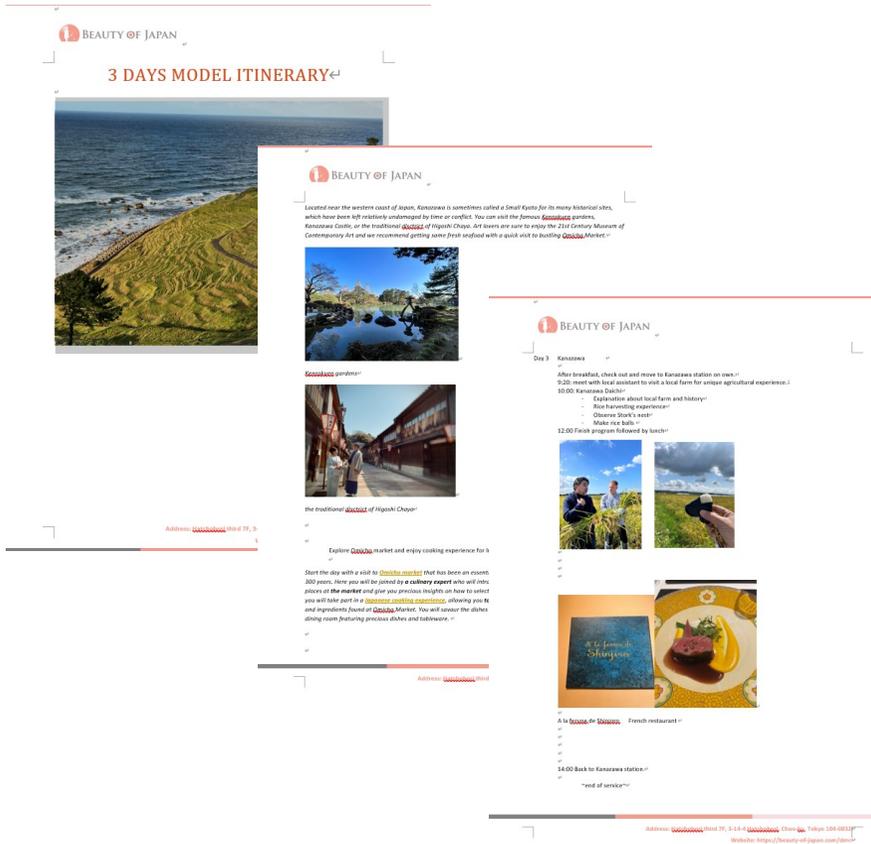
日時	2023年12月26日（水）14:00～15:30
場所	金沢市役所 ミーティングルームA～C （オンライン併用）
参加者	16名（弓削貴久、北陸信越運輸局、金沢市、一般社団法人金沢市観光協会、一般社団法人能登半島広域観光協会、能登DMC合同会社、株式会社地球の歩き方、株式会社計画情報研究所(受託会社)）
議事内容	1) モニターツアーの実施報告・評価 2) 新規コンテンツ・モデルツアーの造成 3) 動画の制作の報告 4) 意見交換会(商談会)について 5) 販売体制について 6) 今後の予定
議事概要	<ul style="list-style-type: none">• 「金沢・能登のつくり手に出会う Farm to Tableの旅」の視察を実施。新しいコンテンツとして地域の食体験や農場見学、収穫体験などを行った。ミシュランレストランの富成での食体験や金沢大地での収穫体験は高評価を得ている。視察を通じて地域活性化や環境保全につながる持続可能なコンテンツ作りの重要性が再認識された。• 制作した動画は動画は金沢市観光協会のサイトに掲載し発信する。• 金沢市観光協会と能登半島広域観光協会が窓口となり、県内のDMCに問い合わせをしていただき販売する。

6. コンテンツ及びモデルツアーの取りまとめ

■ タリフ・アイテナリーの作成

- 造成したモデルツアーの内容を情報発信や販売ができるように、ビジュアルもわかりやすく魅力が伝わるようなアイテナリーを作成した。造成したコンテンツについては、タリフをそれぞれ日英のものを作成した。
- 令和6年能登半島地震の影響で販売することは困難となったが、復興後に再開の目処がたった際活用できるようにする。

モデルツアーのアイテナリー（抜粋）



タリフを作成した新規コンテンツ

- 【金沢】 ◎農業体験(稲刈りなど)と収穫した食材での夕食
- 【能登】 ◎ミシュランシェフと里山の食材探し&ランチ

コンテンツのタリフ（一例）

ミシュランシェフと里山の食材探し&ランチ		内容	
【企画概要】	ミシュランガイドで1つ星&グリーンスターを獲得した「日本料理 富成」の富成氏から川の保全活動に関する話をお聞かせした後、モズガニのご覧の引上げやカサガの捕獲を体験。体験後は捕獲したモズガニを味わいます。	内容	ミシュランシェフと里山の食材探し&ランチ
		申込日	2024年3月~2024年11月
		発着場所	集合場所: 日本料理 富成 解散場所: 日本料理 富成
		集合時間	10:00

Food capture on the river with Michelin chef & lunch		TOUR	
【企画概要】	ミシュランガイドで1つ星&グリーンスターを獲得した「日本料理 富成」の富成氏から川の保全活動に関する話をお聞かせした後、モズガニのご覧の引上げやカサガの捕獲を体験。体験後は捕獲したモズガニを味わいます。	TOUR	Food capture on the river with Michelin chef & lunch
		AVAILABILITY	March, 2024 through November, 2024
		LOCATION	meeting place: Japanese Restaurant Tominari ending place: Japanese Restaurant Tominari
		TOUR HOURS	meeting time : 10:00 start time : 10:00~ end time : 14:00 (total time needed : approx. 4hr)
		PRIVATE BOOKING	Possible <input type="checkbox"/> # of pp. needed 4~10 people
		BOOK BY	Between 6 months to 2 weeks in advance (tentative)
		HOW TO BOOK	Phone/Email
		PAYMENT	Credit Card, Afterwards invoicing
		UNIT PRICE	
		CANCELLATION POLICY	Cancellation day (Calculated by day prior to reservation) 10-8 days prior - - 20% 7-2 days prior - - 30% day before - - 100% same day cancellations or no shows - - 100%
		MIN # of pp.	4 people
		MAX # of pp.	10 people
		GRATUITY	10% TRANSLATOR not provided
		INCLUDED	- Experience fee, lunch fee
		NOT INCLUDED	- Drinks
		NOTES	◆Programs are subject to change due to weather conditions.
		OPERATED BY	note dmc LLC. <input type="checkbox"/> Hajime Koyama
		INQUIRES (and hours)	050-6874-5522 9:00~17:45 Except on weekends and public holidays. <input type="checkbox"/> koyama@note-dmc.com
		URL	https://note-dmc.com/

【プログラム】 10:00~14:00	
◆日本料理 富成	
10:00集合 車で明野川へ移動	
10:10~11:30	①川の保全活動の話 ②モズガニ捕獲体験 ③カサガ捕獲体験
12:00~14:00	川の食材を使ったランチ
【ハイライト】	◆ミシュランシェフ自らが里山の食材の捕獲方法 ◆能登の食材をふんだんに使ったランチを味わえ
【注意事項】	◆天候により、川での捕獲体験ができない場合はチャイ

【HIGHLIGHTS】	
◆ Michelin chef himself gives a lecture on how to catch food from the Machino River.	
◆ Lunch with a variety of Noto ingredients.	
【TO NOTE】	◆ If weather conditions do not allow for a river trapping experience, a lecture will be given in Tominari's restaurant.

7. 事業総括

■本事業の「期待する効果」の達成状況

	目標	達成状況
コンテンツ作成数	2本以上	2本
モデルツアー作成数	1本以上	1本
コンテンツ実施主体数	のべ3団体	のべ3団体 ((一社)金沢市観光協会、能登DMC合同会社、(株)丸一観光)

コンテンツ・モデルツアーともに作成までは至ったが令和6年能登半島地震の影響を受け、当面は実施が困難であり販売ができる状況ではない。ただし、復興後に再開の目処が立った際に改めて内容を検討するなどして活用できる状態である数を示している。

■事業継続における課題整理・次年度以降事業継続における具体的な活動や取組計画

項目	課題内容	活動内容・取組計画
コンテンツ	地域の人との対話や交流の機会を創出する。 屋外での体験に対して、天候の対策が必要。	体験時に地域の人との交流ができることを検討する。 モデルツアーは、体験日程を柔軟に対応できるような行程とする。雨天時の体験を安全面も踏まえた検討を行う。
好循環の仕組みづくり	地域資源やコミュニティへの還元・貢献がわかりやすいものにする。 体験後に、その場で消費（購入）する場及び時間を確保する。	旅行者へ対し、地域資源の活用の説明を行う。 環境保全の活動の団体等への寄付を組み込むなど、わかりやすい仕組みづくりをおこなう。 体験を食事とセットのものとし、食の循環を体感できるコンテンツづくりを行った。食事以外に農産物などの購入などの機会も設ける。
地域の推進体制	金沢市観光協会を中心に、事業者等と連携し、サステナブルツーリズムを推進する。 能登地域も含め、広域で推進する体制づくりを過去3年にわたり継続して実施している。 地域住民との連携を図るなど、よりローカルな体験ができるようにする。	金沢市観光協会が中心となって運営し、地元DMCと連携した販売体制を整備する。 地域住民との連携ができるようにする。

7. 事業総括

■総括

- 本事業では、食文化を軸にしたサステナブルなコンテンツやモデルツアーの造成を行った。「金沢・能登のつくり手に出会う Farm to Tableの旅」をテーマとし、食文化をつくり出す人や地域資源との出会いを魅力とするモデルツアーを造成することができた。
- 旅行会社等を招請した現地視察では、ターゲット層を取り扱う旅行会社の他、メディアとブロガーにも参加いただいた。旅行会社からはターゲット層のニーズや改善点などを伺うことができ、ターゲットに訴求できるモデルコースを造成することができた。また、インバウンド観光業界の大手メディアにて、本事業の取組を紹介いただき、広域でのサステナブルな取組を広く周知することができた。さらに、ターゲット層を対象としたブロガーにも記事化いただくことで、ターゲットへの訴求をすることができたとともに、サステナブルの観点に対するリアルなニーズや意見を得ることができた。現地視察中と勉強会にて、意見交換とフィードバックを行い、ブラッシュアップにつなげることができた。
- 金沢市と能登地域の魅力を伝えることができる動画の制作も行い、商談会や販促活動に活用する。
- 令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響で、本事業で造成したコンテンツやモデルルートの販売実施が困難な状況となった。被災前に造成したものを取りまとめ、復興後に再開の目処が立った際、改めて内容を検討し活用できるようにする。本事業の能登地域も含む関係者と連携をし、現段階での取りまとめを行ったことを速やかな観光での復興につなげることをとする。